

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 50 週（12 月 9 日～12 月 15 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6 人	類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 5 人 血清型 O157 1 人、O103 1 人、 O115 3 人、不明 1 人
四類感染症	E 型肝炎	2 人	推定感染地域 国内 1 人、不明 1 人
	つつが虫病	1 人	推定感染地域 国内 1 人
	レジオネラ症	4 人	病型 肺炎型 4 人
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人	菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
	後天性免疫不全症候群	1 人	病型 その他
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人	
	梅毒	8 人	病型 早期顕症Ⅰ期 5 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
	百日咳	7 人	年齢階級 7 歳 1 人、10 歳代 4 人、 40 歳代 2 人

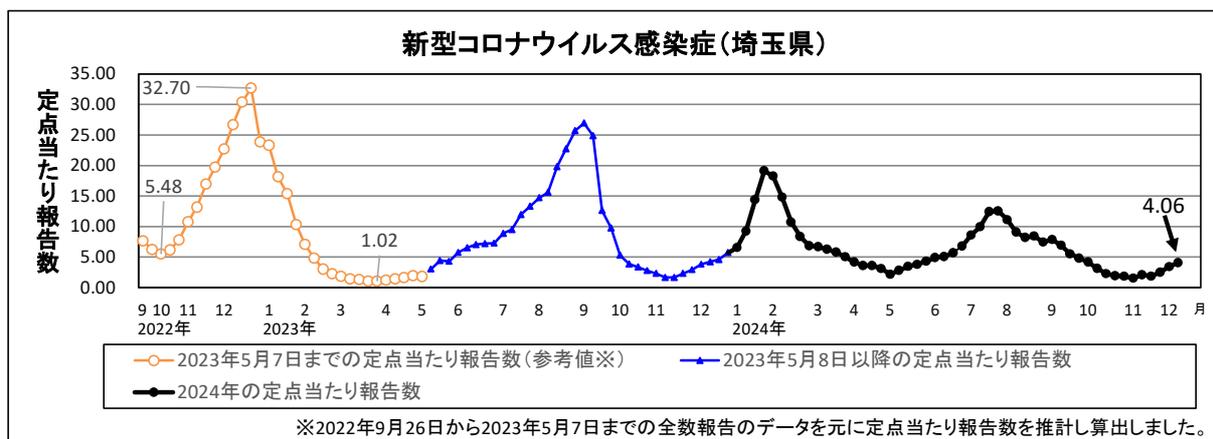
< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症（3.40→4.06:図1）の定点当たり報告数は、第48週以降緩やかな増加傾向にある。保健所別では、坂戸（9.20）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は51人（前週36人）であった。インフルエンザ（9.74→19.61:図2-1～4）の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加し、注意報レベル基準値である10.00を上回った。保健所別では、鴻巣（17.11→34.68）、川口市（12.70→30.65）保健所管内で大きく増加し、幸手（30.43）保健所管内からの報告も多い。伝染性紅斑（3.38→3.77:図3-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加し、非常に多い状況にある。保健所別では、引き続き南部（11.00）保健所管内からの報告が特に多い。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図4）は、35人（前週41人）の報告があり、3週連続で前週の値を下回ったが、依然として多い状況が続いている。年齢階級別では、14歳以下の患者が全体の約89%であった。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎14人、流行性角結膜炎41人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、インフルエンザ（入院）44人（前週25人）（図2-4）の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第50週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第50週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

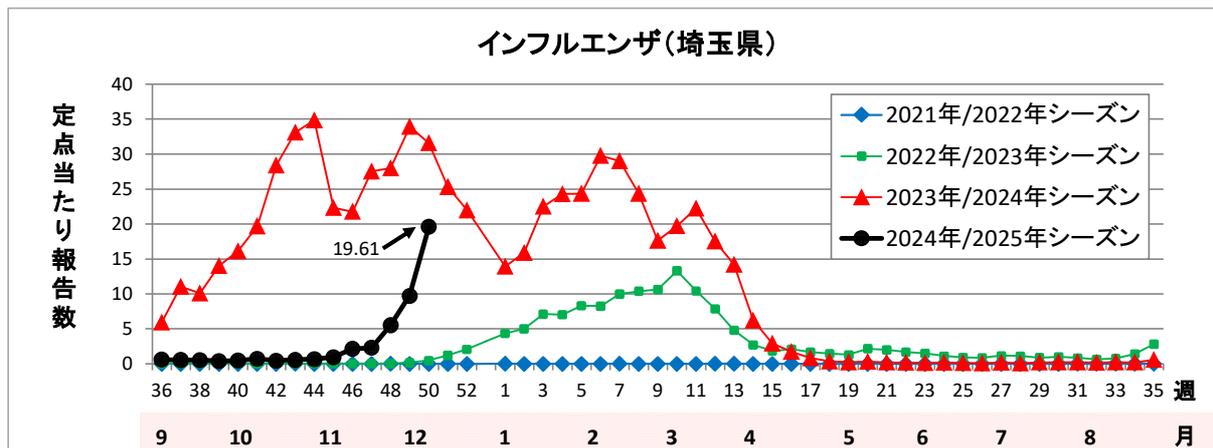
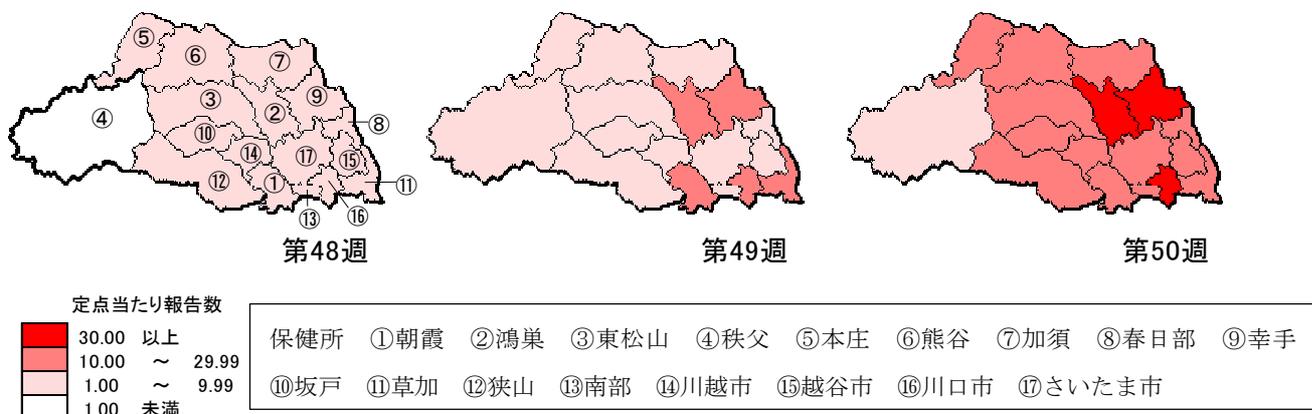


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第48週～第50週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

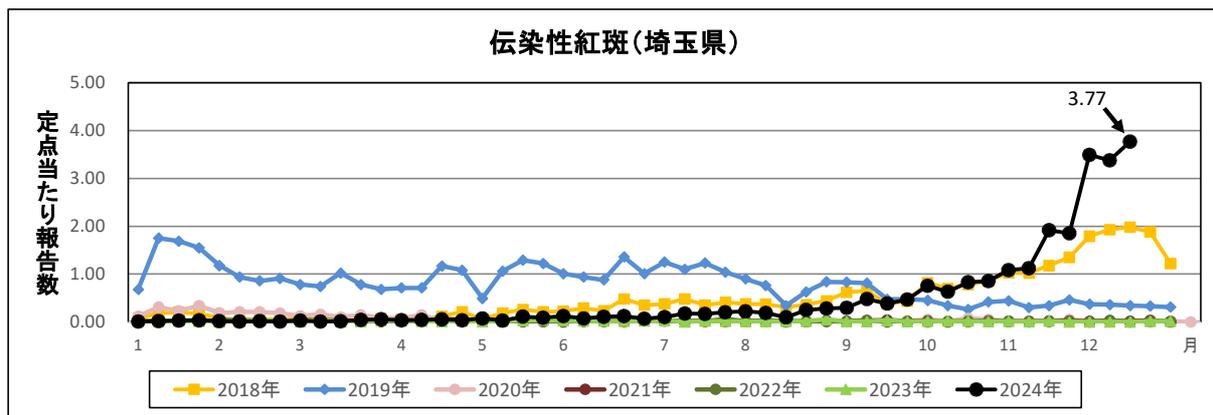


図 3-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024年第48週～第50週)

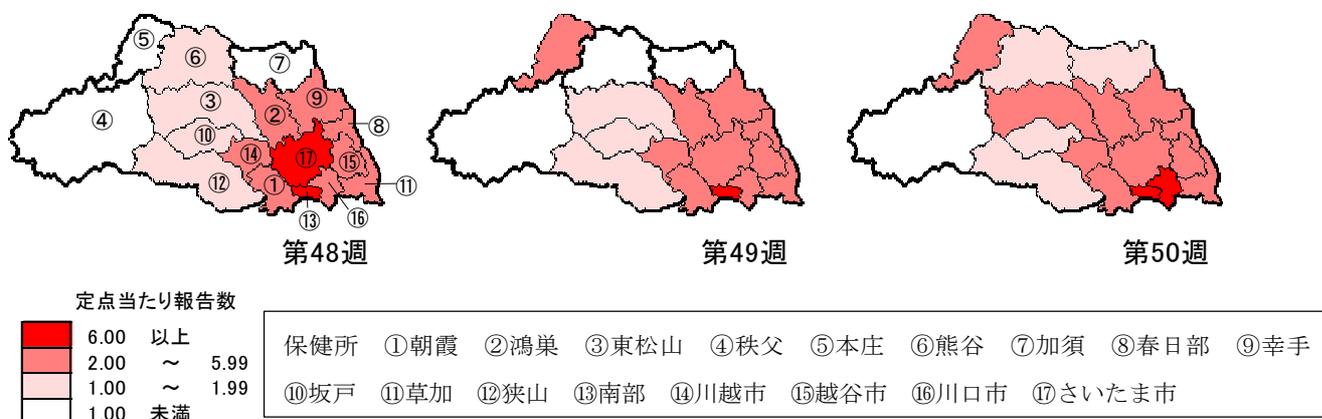
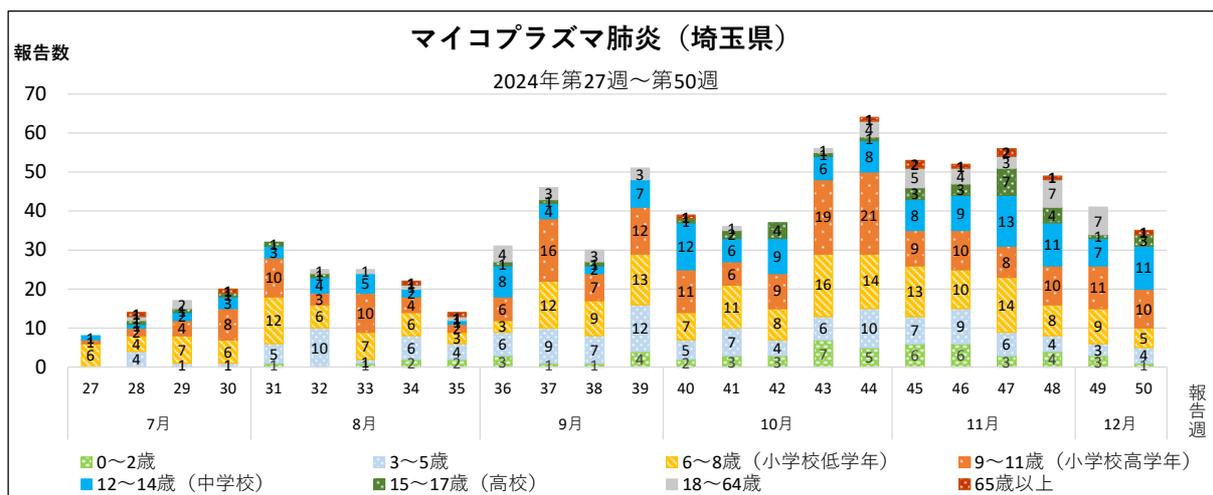


図 4 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第50週)

(2024年12月17日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	177			
四類感染症					
E型肝炎	2	38	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	4	132
つつが虫病	1	3	レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		25	侵襲性肺炎球菌感染症	2	93
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		16	水痘(入院例に限る)		5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	102	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	8	444
急性脳炎		26	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		107	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	32	百日咳	7	162
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	26	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年11月分)

2024年11月の届出総数は、患者35人、無症状病原体保有者23人の計58人であった。前月と比べると患者数は減少し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数は少なく、無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内40人、国外4人、不明14人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年11月～2024年11月)

	2023年*		2024年											累計**
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
総計	59	76	69	72	55	54	51	61	61	47	59	64	58	651
年齢階級														
10歳未満	0	5	2	1	1	2	2	1	0	0	1	1	1	12
10歳代	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	2	0	6
20歳代	2	8	2	6	8	7	6	3	13	6	6	4	4	65
30歳代	6	7	9	6	1	3	2	6	2	5	4	6	0	44
40歳代	4	3	4	8	6	5	4	5	3	2	0	6	5	48
50歳代	10	5	6	9	5	6	5	8	9	6	8	9	9	80
60歳代	8	12	6	12	3	3	7	9	5	8	8	7	4	72
70歳代	8	10	16	10	12	11	9	10	14	9	17	7	12	127
80歳代	17	17	19	14	15	10	12	13	12	7	9	17	18	146
90歳以上	3	9	5	4	4	6	3	6	3	4	6	5	5	51
性														
男	39	44	36	48	30	28	27	37	43	28	39	36	32	384
女	20	32	33	24	25	26	24	24	18	19	20	28	26	267
類型														
患者	42	42	46	43	36	37	40	43	37	33	37	40	35	427
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
無症状病原体保有者	17	34	22	28	19	17	11	18	24	14	22	23	23	221
病型														
肺結核	26	31	31	30	20	22	24	32	24	17	26	29	24	279
肺結核及びその他の結核	7	5	5	2	3	5	4	1	6	5	4	4	3	42
その他の結核	9	6	10	11	13	10	12	10	7	11	7	7	8	106
疑似症患者	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
無症状病原体保有者	17	34	22	28	19	17	11	18	24	14	22	23	23	221
推定感染地域														
国内	35	50	47	37	25	34	29	35	31	24	28	38	40	368
国外	6	3	3	8	4	6	6	9	9	2	3	3	4	57
不明	18	23	19	27	26	14	16	17	21	21	28	23	14	226

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

11月に診断された58人を病型別にみると、肺結核は40歳代以上の年齢階級から計24人の報告があり、70歳代以上が17人で約71%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年11月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	24	3	8	0	23	58
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	0	0	0	0	4	4
30歳代	0	0	0	0	0	0
40歳代	1	0	0	0	4	5
50歳代	6	1	0	0	2	9
60歳代	0	1	0	0	3	4
70歳代	4	0	2	0	6	12
80歳代	9	1	5	0	3	18
90歳以上	4	0	1	0	0	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第50週

12月9日~12月15日)

保 健 所	報告数 #1	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
全 県	報告数 5,119	1,060	62	93	501	883	76	286	618	36	3	10	14	41	-	-	35	-	-	44	51	
	定点当たり 19.61	4.06	0.38	0.57	3.05	5.38	0.46	1.74	3.77	0.22	0.02	0.06	0.33	0.98	-	-	2.92	-	-	3.67	4.25	
朝 霞	報告数 446	88	4	3	67	110	12	11	67	2	1	-	-	3	-	-	15	-	-	10	4	
	定点当たり 19.39	3.83	0.27	0.20	4.47	7.33	0.80	0.73	4.47	0.13	0.07	-	-	0.75	-	-	15.00	-	-	10.00	4.00	
鴻 巣	報告数 659	116	3	6	52	47	3	14	58	4	-	2	-	5	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 34.68	6.11	0.25	0.50	4.33	3.92	0.25	1.17	4.83	0.33	-	0.17	-	1.67	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 95	24	-	-	10	26	-	9	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	定点当たり 11.88	3.00	-	-	2.00	5.20	-	1.80	2.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	-	
秩 父	報告数 31	18	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	1	-	
	定点当たり 6.20	3.60	-	0.67	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	1.00	-	
本 庄	報告数 110	22	1	-	-	3	7	6	11	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	定点当たり 15.71	3.14	0.25	-	-	0.75	1.75	1.50	2.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	
熊 谷	報告数 230	69	2	3	13	57	2	18	13	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	3	1	
	定点当たり 17.69	5.31	0.25	0.38	1.63	7.13	0.25	2.25	1.63	0.25	-	0.13	-	1.00	-	-	-	-	-	3.00	1.00	
加 須	報告数 103	41	4	1	4	15	1	16	6	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	2	2	
	定点当たり 10.30	4.10	0.67	0.17	0.67	2.50	0.17	2.67	1.00	-	-	-	-	2.00	-	-	1.00	-	-	2.00	2.00	
春 日 部	報告数 164	33	10	15	22	50	-	13	25	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 16.40	3.30	1.67	2.50	3.67	8.33	-	2.17	4.17	0.17	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 426	88	10	7	12	32	4	23	20	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 30.43	6.29	1.11	0.78	1.33	3.56	0.44	2.56	2.22	-	-	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 117	92	1	6	4	27	2	8	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29	
	定点当たり 11.70	9.20	0.17	1.00	0.67	4.50	0.33	1.33	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	29.00	
草 加	報告数 431	89	3	2	28	72	2	24	40	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 22.68	4.68	0.25	0.17	2.33	6.00	0.17	2.00	3.33	0.08	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 432	127	6	5	74	48	8	16	27	4	-	-	13	8	-	-	5	-	-	6	-	
	定点当たり 17.28	5.08	0.38	0.31	4.63	3.00	0.50	1.00	1.69	0.25	-	-	2.60	1.60	-	-	5.00	-	-	6.00	-	
南 部	報告数 148	35	3	8	40	53	4	20	55	1	1	-	-	-	-	-	5	-	-	2	5	
	定点当たり 18.50	4.38	0.60	1.60	8.00	10.60	0.80	4.00	11.00	0.20	0.20	-	-	-	-	-	5.00	-	-	2.00	5.00	
川 越 市	報告数 249	40	-	5	53	16	15	3	44	6	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり 17.79	2.86	-	0.63	6.63	2.00	1.88	0.38	5.50	0.75	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 259	59	1	7	6	32	1	17	28	1	1	-	-	-	-	-	7	-	-	1	-	
	定点当たり 19.92	4.54	0.13	0.88	0.75	4.00	0.13	2.13	3.50	0.13	0.13	-	-	-	-	-	7.00	-	-	1.00	-	
川 口 市	報告数 613	45	5	10	42	133	3	38	78	5	-	2	-	6	-	-	-	-	-	8	4	
	定点当たり 30.65	2.25	0.38	0.77	3.23	10.23	0.23	2.92	6.00	0.38	-	0.15	-	1.50	-	-	-	-	-	8.00	4.00	
さいたま市	報告数 606	74	9	13	73	162	12	49	126	8	-	2	1	14	-	-	2	-	-	4	6	
	定点当たり 14.09	1.72	0.32	0.46	2.61	5.79	0.43	1.75	4.50	0.29	-	0.07	0.11	1.56	-	-	2.00	-	-	4.00	6.00	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第50週 12月9日～12月15日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	5,119	19	33	109	114	141	162	197	240	258	287	340	1,187	364	317	302	398	350	160	71	70
新型コロナウイルス感染症	1,060	8	19	20	5	3	5	6	5	8	9	7	59	47	122	112	136	149	109	117	114
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	62	14	9	24	11	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	93	2	6	20	11	6	8	12	5	6	3	2	8	1	3						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	501	-	3	14	27	34	56	56	52	51	52	41	94	5	16						
感染性胃腸炎	883	9	36	90	73	90	65	84	81	89	53	52	94	22	45						
水痘	76	1	-	2	4	1	6	3	4	6	8	10	29	2	-						
手足口病	286	1	3	36	51	37	47	44	16	20	10	4	11	1	5						
伝染性紅斑	618	1	4	26	31	44	92	91	98	71	67	51	39	1	2						
突発性発しん	36	1	3	20	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	3	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	-	-	1	2	4	1	-	1	1	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	14	1	-	1	-	-	-	1	-	1	1	2	1	-	-	1	-	3	2	-	
流行性角結膜炎	41	-	-	-	3	1	5	1	2	2	-	1	6	-	4	7	5	3	1	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	35	1	4	8	18	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(入院)	44	3	4	3	1	-	-	-	3	-	2	-	2	1	4	-	21				
新型コロナウイルス感染症(入院)	51	3	-	-	2	-	-	1	-	-	1	1	2	2	3	4	32				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第48週 (11月25日～12月1日)

令和6年12月18日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福岡県(11.43)、長野県(9.07)、千葉県(8.18)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は446例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(9例)、1～9歳(95例)、10代(28例)、20代(8例)、30代(8例)、40代(18例)、50代(20例)、60代(40例)、70代(68例)、80歳以上(152例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(9.51)、岩手県(8.21)、北海道(7.64)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,420例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(17例)、1～9歳(26例)、10代(10例)、20代(11例)、30代(22例)、40代(24例)、50代(64例)、60代(130例)、70代(389例)、80歳以上(727例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(1.05)、栃木県(0.79)、鹿児島県(0.63)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.92)、岩手県(0.75)、福島県(0.65)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(5.86)、北海道(5.02)、福岡県(4.86)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.36)、福井県(6.68)、宮崎県(6.33)である。手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(7.04)、沖縄県(6.81)、岩手県(6.43)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(3.49)、東京都(3.02)、神奈川県(2.17)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.83)、新潟県(0.16)、秋田県(0.15)、茨城県(0.15)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(0.09)、茨城県(0.08)、奈良県(0.06)、沖縄県(0.06)である。

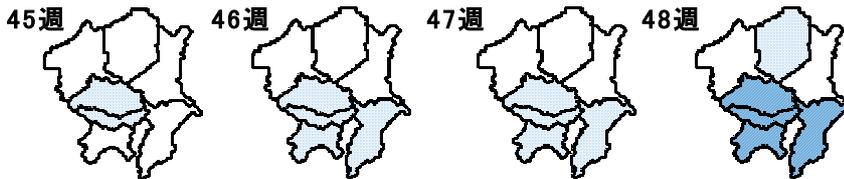
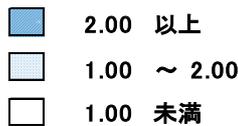
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(7.00)、青森県(4.67)、岡山県(4.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。3都道府県から4例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第48週(11月25日～12月1日):通巻第26巻 第48号 より

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、埼玉県(3.49)、東京都(3.02)、神奈川県(2.17)、千葉県(2.10)からの報告が多い。

伝染性紅斑



2024年 48週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	24,027	7,781	340	246	292	1,434	1,652	1,807	2,010
	定点当たり	4.86	5.10	2.83	3.24	3.44	5.52	8.18	4.32	5.49
新型コロナウイルス感染症	報告数	11,945	3,132	328	172	252	646	487	566	681
	定点当たり	2.42	2.05	2.73	2.26	2.96	2.48	2.41	1.35	1.86
RSウイルス感染症	報告数	858	236	12	38	25	39	15	57	50
	定点当たり	0.27	0.25	0.16	0.79	0.47	0.24	0.12	0.22	0.22
咽頭結膜熱	報告数	1,070	263	27	14	19	81	20	65	37
	定点当たり	0.34	0.27	0.36	0.29	0.36	0.50	0.16	0.25	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,101	2,557	350	134	76	465	443	696	393
	定点当たり	2.58	2.67	4.67	2.79	1.43	2.85	3.52	2.64	1.71
感染性胃腸炎	報告数	12,074	3,613	192	95	224	674	400	1,186	842
	定点当たり	3.85	3.77	2.56	1.98	4.23	4.13	3.17	4.49	3.66
水痘	報告数	894	354	6	26	42	78	45	92	65
	定点当たり	0.28	0.37	0.08	0.54	0.79	0.48	0.36	0.35	0.28
手足口病	報告数	8,617	3,094	211	217	200	660	561	703	542
	定点当たり	2.75	3.23	2.81	4.52	3.77	4.05	4.45	2.66	2.36
伝染性紅斑	報告数	2,806	2,259	38	63	29	569	265	796	499
	定点当たり	0.89	2.36	0.51	1.31	0.55	3.49	2.10	3.02	2.17
突発性発しん	報告数	872	267	11	13	26	46	17	76	78
	定点当たり	0.28	0.28	0.15	0.27	0.49	0.28	0.13	0.29	0.34
ヘルパンギーナ	報告数	193	61	11	3	4	19	10	10	4
	定点当たり	0.06	0.06	0.15	0.06	0.08	0.12	0.08	0.04	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	100	39	6	2	2	5	6	9	9
	定点当たり	0.03	0.04	0.08	0.04	0.04	0.03	0.05	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	16	7	-	-	-	6	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.14	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	438	176	43	15	12	17	20	18	51
	定点当たり	0.63	0.84	2.53	1.25	0.86	0.40	0.57	0.46	1.02
細菌性髄膜炎 #2	報告数	13	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	16	5	-	-	-	-	-	4	1
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	-	-	0.16	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	1,090	238	44	8	16	49	19	70	32
	定点当たり	2.27	2.74	3.38	1.14	1.78	4.08	2.11	2.80	2.67
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	3	-	2	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.03	-	0.29	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスにおける エンテロウイルス検出状況

埼玉県では、新型コロナウイルス感染症が五類感染症に位置付けられた令和5年5月8日から、小児科・内科病原体定点医療機関に対し急性呼吸器感染症検体の採取をお願いし、インフルエンザやコロナウイルスを含め様々な呼吸器感染症起因ウイルスの検出を行っています。

このうちエンテロウイルスについては、令和5年5月～令和6年8月の月別の検出率が0%～3.0%だったのに対し、令和6年9月は8.7%、10月は9.8%と、明らかな検出率の増加が見られました。そこで、エンテロウイルス VP1 部分領域のシーケンスにより遺伝子型別を行い、どの遺伝子型がどのくらい検出されているか改めて検査しました。

令和6年8～11月に埼玉県衛生研究所でエンテロウイルスが検出された27検体中24検体について遺伝子型別することができました。24検体のうち、最も多かったのはエンテロウイルス D68 で20件(83.3%)検出されました。その他、エコーウイルス11、コクサッキーウイルス B2、コクサッキーウイルス B3、エンテロウイルス A71 が各1件(4.2%)検出されました。

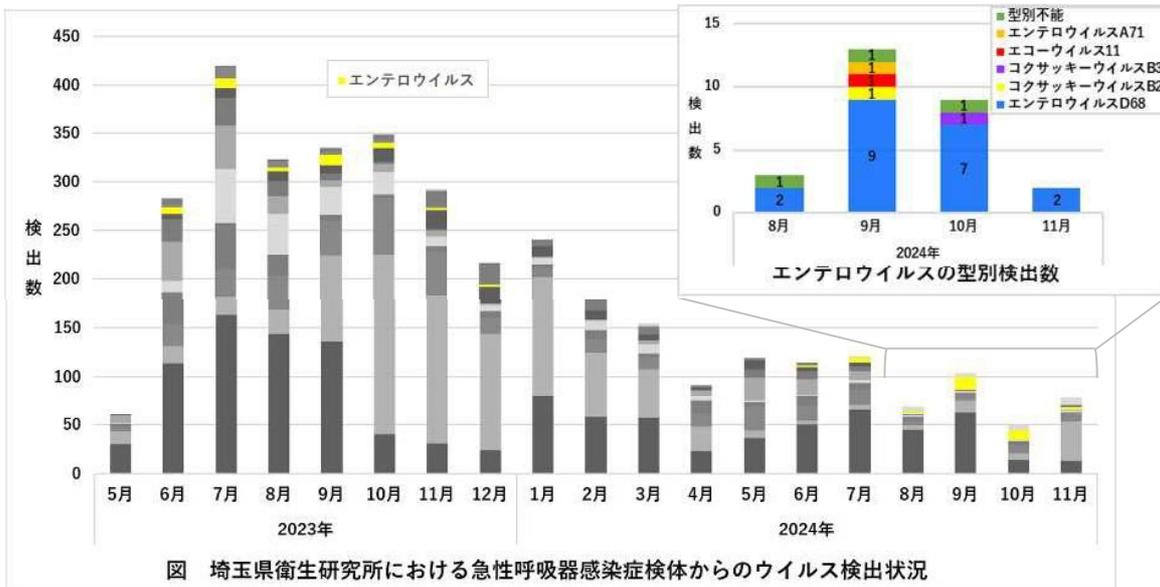


図 埼玉県衛生研究所における急性呼吸器感染症検体からのウイルス検出状況

エンテロウイルス D68 が検出された検体は、0歳～70歳の検体で、幅広い年代から検出されました。症状は発熱が最も多く、次いで咽頭痛、肺炎・気管支炎でした。

エンテロウイルス D68 は五類感染症全数把握疾患である急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）との関連性が指摘されています。また、風邪などの呼吸器感染症の原因ウイルスの一つとしてあげられていますが、現在は手足口病やヘルパンギーナのように感染症発生動向調査でその流行状況が把握できる体制にはなっていません。急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランスでは様々な起因ウイルスの検出を行っていることから、これらのウイルスの動向についても報告できることを目指しています。

病原体定点医療機関においては、検体採取についてご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

感染症発生動向調査
2024年

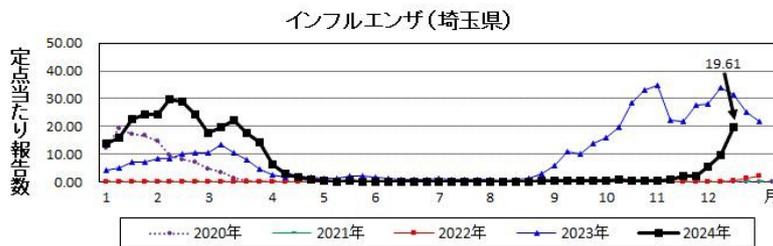
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第50週

2024年第50週（12月9日～12月15日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加し、注意報レベル基準値である10.00を上回りました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑(りんご病)	↑	★★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	↑	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

